

**介護予防・日常生活支援総合事業**  
**特別養護老人ホームサンリットひまわり園（デイサービスセンター）**  
**運 営 規 程**

**（事業の目的）**

第1条 社会福祉法人松波福祉会が設置する特別養護老人ホームサンリットひまわり園（以下「事業所」という。）において実施する介護予防・日常生活支援総合事業（以下「事業」という。）の適正な運営を確保するために必要な人員及び運営管理に関する事項を定め、介護予防・日常生活支援総合事業の円滑な運営管理を図るとともに、要支援状態の利用者の意思及び人格を尊重し利用者の立場に立った、適切なサービスを提供することを目的とする。

**（運営の方針）**

第2条 事業所においては、要支援状態の利用者が可能な限りその居宅において、その有する能力に応じて自立した日常生活を営むことができるよう生活機能の維持又は向上を目指し、必要な日常生活上の世話及び機能訓練を行うことにより、利用者の社会的孤立感の解消及び心身の機能の維持並びに利用者の家族の身体的及び精神的負担の軽減を図るものとする。

- 2 利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立ったサービスの提供に努めるものとする。
- 3 利用者の要支援状態の軽減又は悪化の防止に資するよう、その目標を設定し、計画的に行うものとする。
- 4 市及び居宅介護支援事業者、在宅介護支援センター、地域包括支援センター、他の居宅サービス事業者その他の保健医療サービス及び福祉サービスを提供する者との連携に努めるものとする。
- 5 事業所は、利用者の人権の擁護、虐待の防止等のため、必要な体制の整備を行うとともに、従業員に対し、研修を実施する等の措置を講じるものとする。
- 6 サービスの提供にあたっては、介護保険等関連情報その他必要な情報を活用し、適切かつ有効に行うよう努めるものとする。
- 7 サービス提供の終了に際しては、利用者又はその家族に対して適切な指導を行うとともに、居宅介護支援事業者等へ情報の提供を行う。

**（事業の運営）**

第3条 介護予防・日常生活支援総合事業の提供にあたっては、事業所の従業員によってのみ行うものとし、第三者への委託は行わないものとする。

**（事業所の名称等）**

第4条 事業を行う事業所の名称及び所在地は、次のとおりとする。

- (1) 名 称 特別養護老人ホームサンリットひまわり園
- (2) 所在地 高砂市高砂町松波町440-5

### **(従業者の職種、員数及び職務の内容)**

第5条 事業所における従業者の職種、員数及び職務の内容は次のとおりとする。

(1) 施設長（管理者） 1名

管理者は、従業者及び業務の実施状況の把握その他業務の管理を一元的に行うとともに、法令等において規定されている介護予防・日常生活支援総合事業の実施に関し、事業所の従業者に対し遵守すべき事項についての指揮命令を行う。

(2) 生活相談員 1名

生活相談員は、事業の利用申し込みに係る調整、利用者の生活の向上を図るため適切な相談・援助等を行い、また他の従事者と協力して通所介護計画の作成等を行う。

(3) 介護職員 4名

介護職員は、利用者の心身の状況に応じ、必要な介護を行う。

(4) 看護職員 1名

看護職員は、利用者の健康状態の確認及び介護を行う。

(5) 機能訓練指導員 1名

機能訓練指導員は、利用者の日常生活を営むのに必要な機能の減退防止するための訓練指導、助言を行う。

2 前項に定めるものの他、必要がある場合はその他の従業者を置くことができる。

### **(営業日及び営業時間)**

第6条 事業所の営業日及び営業時間は、次のとおりとする。

(1) 営業日 月曜日から土曜日までとする。

(ただし、12月30日から1月3日までを除く。)

(2) 営業時間 午前8時30分～午後5時30分とする。

(3) サービス提供時間 午前9時20～午後4時30分とする。

2 台風等の自然災害により、営業日当日の午前8時の時点で兵庫県南部・兵庫県南東部・播磨南東部に警戒警報が発令されているとき及びその他やむを得ない事情により営業できないと管理者が判断した場合は臨時休業とし、当日の利用者またはその家族に速やかに休業を知らせる。

### **(利用定員)**

第7条 事業所の利用定員は、指定通所介護の利用者を含め1日30名とする。

### **(サービスの内容)**

第8条 事業の内容は、次に掲げるもののうち必要と認められるサービスを行うものとする。

(1) 入浴サービス

(2) 食事サービス

(3) 生活指導（相談・援助等）、レクリエーション

(4) 機能訓練

(5) 健康チェック

(6) 送迎

## (7) その他必要なサービス

### (利用料等)

第9条 サービスを提供した場合の利用料の額は、高砂市介護予防・日常生活支援総合事業実施要領に定める基準によるものとする。

2 前項のほか、次の各号に掲げる費用を徴収する。

ア 利用者の選定により通常の事業の地域以外に居住する利用者に対して行う送迎に要する費用

イ 事業に通常要する時間を越えるサービスであって、利用者の選定に関わるものの提供に伴い必要となる費用の範囲内において、通常の当該サービスに関わるサービス費用基準額を超える費用

ウ 食事の提供に要する費用として650円(1食あたり)

エ 前各号に掲げるもののほか、通所型サービスの提供において提供される便宜のうち、日常生活においても通常必要となるものに関わる費用であって、その利用者に負担させることが適当と認められる費用

3 前各号の費用の支払いを受ける場合には、利用者又はその家族に対して事前に説明した上で、支払いに同意を得ることとする。

### (通常の事業の実施地域)

第10条 通常の事業の実施地域は、高砂市内全域とする。

### (衛生管理等)

第11条 事業所は、利用者の使用する施設、食器その他の設備又は飲用に供する水について、衛生的な管理に努めるとともに、衛生上必要な措置を講ずるものとする。

2 事業所は、事業所において感染症が発生し、又はまん延しないように次の各号に掲げる措置を講じるものとする。

(1) 事業所における感染症の予防及びまん延の防止のための対策を検討する委員会(テレビ電話装置等を活用して行うことができるものとする。)をおおむね6月に1回以上開催するとともに、その結果について、従業者に周知徹底を図る。

(2) 事業所における感染症の予防及びまん延の防止のための指針を整備する。

(3) 事業所において、従業者に対し、感染症の予防及びまん延の防止のための研修及び訓練を定期的実施する。

### (サービスの提供にあたっての留意事項)

第12条 事業所はサービス提供にあたっては、医師の診断や日常生活上の留意事項、利用者の当日の健康状態等を職員が把握し、心身の状況に応じたサービスが提供できるよう留意する。

### (サービスの利用にあたっての留意事項)

第13条 利用者はサービスを利用するにあたり、つぎのことについて留意する。

- ① 施設・設備の利用にあたっては、その本来の用途に従って利用すること。
- ② 利用者の体調に変化があった際には事業所職員に速やかに報告すること。
- ③ 事業所内での金銭及び飲食物のやりとりは慎むこと。
- ④ 職員に対する物品の贈答やもてなしはしないこと。

#### **(緊急時等における対応方法)**

- 第14条 従業者は、サービスの提供を行っているときに利用者に病状の急変、その他緊急事態が生じたときは、速やかに主治医に連絡する等の措置を講ずるとともに、管理者に報告する。主治医への連絡が困難な場合は、緊急搬送等の必要な措置を講ずるものとする。
- 2 事業所は、利用者に対するサービスの提供により事故が発生した場合は、市及び当該利用者の家族、当該利用者に係る居宅介護支援事業者等に連絡するとともに、必要な措置を講ずるものとする。
  - 3 事業所は、前項の事故の状況及び事故に際して採った処置の状況について記録をするものとする。
  - 4 事業所は、利用者に対するサービスの提供により賠償すべき事故が発生した場合には、損害賠償を速やかに行うものとする。

#### **(非常災害対策)**

- 第15条 事業所は、非常災害に備えて、消防計画、風水害、地震等の災害に対処するための計画を作成し、防火管理者または火気・消防等についての責任者を定め、年2回定期的に避難、救出その他必要な訓練を行うものとする。
- 2 事業所は、前項に規定する訓練の実施に当たって、地域住民の参加が得られるよう連携に努めるものとする。

#### **(苦情処理)**

- 第16条 事業所は、サービスの提供に係る利用者及び家族からの苦情に迅速かつ適切に対応するために、必要な措置を講ずるものとする。
- 2 事業所は、提供したサービスに関し、市が行う文書その他の物件の提出若しくは提示の求め又は市からの質問若しくは照会に応じ、及び市が行う調査に協力するとともに、市から指導又は助言を受けた場合は、当該指導又は助言に従って必要な改善を行うものとする。

#### **(個人情報の保護)**

- 第17条 事業所は、利用者又は家族の個人情報について「個人情報の保護に関する法律」及び厚生労働省が策定した「医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取扱いのためのガイダンス」を遵守し適切な取り扱いに努めるものとする。
- 2 事業者が得た利用者又は家族の個人情報については、事業者での介護サービスの提供以外の目的では原則的に利用しないものとし、外部への情報提供については利用者又は家族の同意を、あらかじめ書面により得るものとする。

#### **(虐待防止に関する事項)**

第18条 事業所は、利用者の人権の擁護、虐待の発生又はその再発を防止するため次の措置を講ずるものとする。

- (1) 虐待防止のための対策を検討する委員会（テレビ電話装置等を活用して行うことができるものとする。）を定期的開催するとともに、その結果について従業者に周知徹底を図る。
- (2) 虐待防止のための指針の整備
- (3) 虐待を防止するための定期的な研修の実施
- (4) 前3号に掲げる措置を適切に実施するための担当者の設置

2 事業所は、サービス提供中に、当該事業所従事者又は養護者（利用者の家族等高齢者を現に養護する者）による虐待を受けたと思われる利用者を発見した場合は、速やかに、これを市に通報するものとする。

#### **（業務継続計画の策定等）**

第19条 事業所は、感染症や非常災害の発生時において、利用者に対するサービスの提供を継続的に実施するための、及び非常時の体制で早期の業務再開を図るための計画（以下「業務継続計画」という。）を策定し、当該業務継続計画に従い必要な措置を講じるものとする。

- 2 事業所は、従業者に対し、業務継続計画について周知するとともに、必要な研修及び訓練を定期的実施するものとする。
- 3 事業所は、定期的に業務継続計画の見直しを行い、必要に応じて業務継続計画の変更を行うものとする。

#### **（地域との連携等）**

第20条 事業所は、その事業の運営に当たっては、地域住民又はその自発的な活動等との連携及び協力を行う等の地域との交流に努めるものとする。

- 2 事業所は、事業所の所在する建物と同一の建物に居住する利用者に対してサービスを提供する場合には、当該建物に居住する利用者以外の者に対してもサービス提供を行うよう努めるものとする。

#### **（その他運営に関する留意事項）**

第21条 事業所は、全ての通所介護従業者（看護師、准看護師、介護福祉士、介護支援専門員、介護保険法第8条第2項に規定する政令で定める者等の資格を有する者その他これに類する者を除く。）に対し、認知症介護に係る基礎的な研修を受講させるために必要な措置を講じるものとする。また、従業者の資質向上のために研修の機会を次のとおり設けるものとし、また、業務の執行体制についても検証、整備する。

- (1) 採用時研修 採用後3ヵ月以内
  - (2) 継続研修 年1回
- 2 従業者は、業務上知り得た利用者又はその家族の秘密を保持する。
  - 3 事業者は従業者が在職中のみならず退職後においても、業務上知り得た利用者又はその家族の秘密を漏らすことがないよう、必要な措置を講じるものとする。

- 4 事業所は、適切なサービスの提供を確保する観点から、職場において行われる性的な言動又は優越的な関係を背景とした言動であつて業務上必要かつ相当な範囲を超えたものにより通所介護従業者の就業環境が害されること（ハラスメント等）を防止するための方針の明確化等の必要な措置を講じるものとする。
- 5 事業所は、通所サービスに関する記録を整備し、そのサービスを提供した日から最低5年間は保存するものとする。
- 6 この規程に定める事項のほか、運営に関する重要事項は社会福祉法人松波福社会と事業所の管理者との協議に基づいて定めるものとする。

#### 附 則

この規程は、平成29年4月1日から施行する。

この規程は、令和 2年4月1日から施行する。

この規程は、令和 6年4月1日から施行する。